



OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

W E E K L Y R E P O R T

設立 昭和63年(1988)5月23日
 事務所 〒542-0086 大阪市中央区西心斎橋1-7-3 大丸北炭屋町ビル6階
 TEL.(06)6244-1008 FAX.(06)6244-1010
 WEB. http://sembarotary.club E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp
 例会 毎週月曜日・12時30分・ホテル日航大阪 Tel.(06)6244-1111

会長 宮原 彰 幹事 岩崎 寿英 会報広報委員長 中西 弘明

四つのテスト／言行はこれに照してから Ⅰ. 真実かどうか Ⅱ. みんなに公平か Ⅲ. 好意と友情を深めるか Ⅳ. みんなの為になるかどうか

第1435回 例会 2021年(令和3年)11月15日

(ロータリー財団月間)

本日のプログラム ○ ロ-タリ-ソング 「日も風も星も」 ○ 会長の時間 ○ 幹事報告 ○ 委員会報告 ○ ニュニコ箱報告 ○ 出席報告 ○ 卓 話 「コロナ禍を振り返って～コロナで得たもの～」 吉本 力 会員	(本日のプログレス 中井 崇 副SAA)
---	----------------------

前回(11月8日)例会記録

◇プログレス 原山 歩 副SAA

~~~~~  
 ・殖生の宿  
 ・まっかな秋  
 ・遠い世界に  
 ~~~~~

1. **来客紹介** 井澤 武尚 親睦委員
 ゲスト:0名 地区外:0名 地区内:1名 合計:1名

2. 会長の時間 宮原 彰 会長



皆様こんにちは。ご承知の通りロータリークラブは月毎に活動目標を定めています。
 先々月の9月は識字率向上月間で、RIメータ会長も識字率の向上を図ることによって、世界中の子供たちを幸福へ導くことが出来ると健筆をふるっておられました事はここでも紹介させていただきました。
 先月10月は地域社会の経済発展月間、今月11月はロータリー財団月間となっております、先月ロータリーの友10月号に掲載されていましたが、RIメータ会長のメッセージの一部を紹介させていただきます。ロータリーのお陰で私の心に火が付き、私は自分の周囲だけでなく、人類全体に目を向けるようになりました。奉仕活動が日常生活の一部となり、奉仕は地球上で暮らすための使用料であると言う、今日も私の信条となっている思想にたどり着きました。ご自分やクラブの心を再び燃やしたいとお考えなら、地域社会の経済発展月間である、10月はまさにそのチャンスです、と述べておられます。メータ会長の思いを有りがたく受け止めたいと思います。

私たちのクラブの皆さんも多くの方がここ大阪船場を中心に企業や諸団体にあつて、リーダーの立場でお仕事をなさっております。

秋のこの時期ですから、来年に向けて新卒者の面接をされたり、携わっておられることあると思いますが、つい先日送られて来た文書の中に、ご存知ですか採用面接でその質問、実は不適切です、と大きく書かれた文書がありました。それを見ておみると、今の面接はこうなっているのかと驚きながら読んで行きました。

面接に来る学生は緊張していますから、それを和らげてあげたいと思い、つい夕べは眠れましたか、寝られませんでした。お家の人に何か言われましたか、父は元気ではきはきと頑張ってください。お母様は何と言われましたか？京都弁を気にせずに頑張っておいでや、と言ってくれました。それは良かったね と言いたいところですが、全部だめです。

その指導書によりますと、家族の事や人生観、生活信条、尊敬する人物、愛読書など、聞かない方が良く、とありました。

自社の採用選考における質問事項をチェックしてみましょうのタイトルの下にエントリーシート編として本籍や帰省先を記入する欄がある。健康状態や既往歴を記入する欄がある。家族構成や家族の職業など、家族の事を記入する欄がある。採用面接編として 場を和ませるつもりで家族や出身地に関する事を聞いている。

家の間取り、借家、持ち家などの住宅状況について聞いている。思想や信条に関する事、愛読書などについて聞いている。今言った中で一つでもチェックが入ったら、不適切とありました。

私の知人で昭和30年代の半ばに就職試験を受けたところ、欠損家庭の子は受験資格なしと書かれていた時代だったそうです。欠損とは両親が揃っていない、片親に育てられたケースで、文句を言いに行く学生は、その頃はいなかったそうです。皆さんもご自分の時代に還ってみて、その頃の時代はどうだったのか、人権に関する捉え方、考え方がどう変化してきているのか、この先どうなって行ったらいいのか、思いを巡らせてみるのも必要なのではと感じたものですから、私の感じたままをお話させて頂きました。

3. 幹事報告 岩崎 寿英 幹事

①11月1日に理事会が開催されました。報告は週報に掲載されておりますので、ご確認願います。

②本日(11月8日)より新入会員として、野田寿美子さんが入会されました。皆さま温かくお迎えください。

また、12月より篠藤敦子さんも入会されます。お二人のインシエーションスピーチは12月20日に予定しております。

③12月13日の家族懇親会は、先日親睦委員長よりご報告の通り、会員のみの懇親会といたします。

場所は日航ホテルになりました。当初の予定通り、17時より例会および総会、18時より懇親会です。

④次年度の地区への推薦者の件

ガバナー補佐:小山会員、社会奉仕委員:澤田会員、青少年奉仕委員:原山会員

⑤シンガポール RC よりご連絡をいただきまして、先日10月28日に先方の3名、当クラブから会長、塩尻会員、岩崎が参加して、オンラインで打合せを行いました。姉妹クラブとして、今後ぜひ何か奉仕活動を共同で行いたいという方向で意思確認をいたしました。まずは顔合わせでありましたが、今後定期的に打合せを行いたいと思います。都度皆様にご報告いたします。

4. 委員会報告

◎ 国際奉仕委員会 吉本 力 委員長

八尾ロータリーとの共同で、フィリピンへの奉仕活動を行うことについて、先程関係者で会議を行いました。

具体案や予算案はまだ決まっておりませんが、今後国際奉仕委員会を開催し、その結果を皆様にご報告しつつ進めさせていただきますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。

来週11月15日の例会には、八尾ロータリーの田中会長をはじめ4名の方々にご出席いただく予定となっております。温かくお迎えいただきますよう、皆様よろしくお願ひいたします。

◎ ロータリー財団委員会 北野 克己 委員長

本年度の財団委員会の活動計画書に掲載いたしました「本年度年次基金寄付並びにポリオ寄付」は計画書通り

「年次基金寄付 \$ 160/会員」、「ポリオ寄付 \$ 70/会員」を理事会において承認して頂きました。

また、本年度の目標1名でありました「恒久基金寄付一括 \$ 1,000」はベネファクターである沖会員(2008年度以来2度目)にご協力頂きました。皆様ありがとうございました。

5. 新入会員入会式



本日より入会された野田寿美子会員に宮原会長よりエンブレムが授与されました。また、ご紹介者の坂本会員から簡単にご紹介をしていただきました。

6. ニコニコ報告 天野 大樹 親睦委員

伊藤 会員・・・林会員、先週の小集会で美味しいワインをセレクトしていただき、ありがとうございました。

また藤井会員、美味しい食事ありがとうございました。

沖 会員・・・先週の小グループ集會、林さんお世話になりました。ワインもおいしかったです。ありがとう御座いました。

塩尻 会員・・・よろしくお願ひ申し上げます!

新川、北野、吉本、坂本、清水、天野、山川、中村、宮原、俣野、小山、中嶋、原山、岡本(茂)、平山、片岡、岩崎、澤田、井澤、甚田、大磯、林、大嶋、

各会員・・・野田寿美子新入会員をお迎えして 皆様よろしくお願ひします

7. 出席報告 清水 清一 副SAA

会員総数 39名 出席率計算会員数 39名 出席会員数 31名 出席率 79%

第1432回(10月11日) 修正出席率 97%

8. 卓 話 「日本人の旅について」 新川 晃生 会員



旅は私にとって、精神の若返りの泉だ」と言ったのはアンデルセンですが、皆さんは「旅」にどんなイメージをお持ちでしょうか。ほとんどの皆さんが、レジャーとしての旅行を思い浮かべるのではないのでしょうか。

しかし、道路も整備されておらず食料の確保も難しい古代、おまけにカーナビもスマートフォンもない暗い夜道は、常に危険や死と隣り合わせの厳しいもので、兵役や税を都に運ぶための移動以外で、庶民に自分の土地を離れるというような旅の意識はなく、せいぜい修験者や僧侶の修行といった信仰を目的とした旅だったようです。

それが、江戸時代になって参勤交代が始まり、徐々に街道や宿場が整備されるようになって、

旅が楽しいものになって

きました。江戸時代の半ばには、ガイドブックのようなものも出て人気があったようです。

とは言っても、江戸時代には関所があり、庶民の自由な移動は原則として禁止されています。そこで人々は、比較的手に入れやすい参拝を口実とした通行手形を入手しました。

それがお伊勢参りや富士登山、善行寺参りなどで、庶民が信仰を大義名分として旅行を楽しむようになりました。

また、温泉が旅の目的地となったのもこの時代のようなようです。

その後、鉄道が普及するようになると旅の楽しみ方も変わってきます。

特に、戦後の高度成長期には、式場やホテルでの結婚式とセットで新婚旅行が商品化され、昭和30年代の関西では和歌の浦、関東では伊豆や箱根、熱海といった温暖な温泉地が人気となり、国鉄から新婚カップル用の「ことぶき周遊券」といったものも販売されたようです。

また、40年代には宮崎が一大ブームとなります。これには、地元企業による フェニックスの植樹など、南国のイメージを作るために様々な努力がなされたようです。

その結果、昭和49年には、結婚した100万組のカップルのうち37万組が新婚旅行で宮崎を訪れたと言われています。

そして、海外旅行。自由に海外旅行ができるようになったのは昭和39年からです。当時200万人ほどだった渡航者は、1990年には1000万人に、そして2019年には2000万人と、約10倍になっています。

それがコロナの影響で、人の移動自体が制限されるようになり、旅行どころではなくなってしまいました。
このような状況になっても、人の旅行に行きたいという欲求は、そう簡単に抑えられるものではありません。
さすがに海外旅行や修学旅行などの団体旅行はまだ難しいようですが、「マイクロツーリズム」と呼ばれる近場での旅行は徐々に増えています。また、テレワークを推進する企業も増え、地方のリゾートホテルに滞在しながら仕事をするという「ワーケーション」といったものも生まれました。さらには、バーチャル旅行といったものまであります。
コロナがいつ終息するか分かりませんが、アフターコロナでは、旅行のスタイルがもっと多様化するのかもしれない。
いずれにせよ、旅を通じて非日常を体験したいという人間の欲望というものは、なくなるのではないかと思います。

【2021-2022年度地区大会 2021. 12. 3 13:00～ 於:大阪国際会議場5階】



Rotary 

2021-2022
ROTARY
INTERNATIONAL
DISTRICT 2660
CONFERENCE
地区大会

動くぞ!!
オーサカ!

2021
12.3
FRIDAY

会場 大阪国際会議場

プログラム
13:00 開会
13:10-14:20 式典第一部
14:25-14:55 式典第二部
15:00 特別講演
「2025年 大阪・関西万博 -- 万博で何を、どう変える？」
大阪商工会議所 会頭 尾崎 裕 氏
16:40 特別コンサート “弦楽器の調べ” 大阪交響楽団
17:20 閉会


SERVE TO CHANGE LIVES
ROTARY INTERNATIONAL

於:大阪国際会議場5階 会場参加・オンライン参加可能です

☆次回11月29日(月)例会予定
・委員会卓話:ロータリー財団委員会
※11月22日(月)は休会です。